



～建築は、建てることより育てること～

vol.218

MIZUNO “旬感”だより

令和7年4月号

はつにじ

初虹

空気が潤ってきた
晩春頃に初めて立つ虹

今月の言葉

『“不快”を“快”に変える』

吉良久美子著 エネルギー論

～未来を創造して人生を遊び尽くす!～より

「快」を意識しようとしても、意味もなく不安や不満におそわれるときはありませんか?そういうときは、思考が過去や未来に飛んでいて、感覚が鈍っている証拠です。

おそらく多くの人は思考ばかり使っているのです、感度が鈍いのではないのでしょうか。

感度とは、料理の味を感じたり、草原の香りを感じたりする五感のことです。

五感は、「今」を生きているときにしか感じられません。

逆に言えば、五感を感じているときには、不安や不満を感じることはありません。何か具体的な出来事があったわけでもないのに、なんとなく気持ちもちがモヤモヤしているときは、感度が鈍っているときです。感覚を戻すレッスンをしましょう。

今、目の前で「見えること」「感じること」など、五感で感じたことすべてを、そのまま言葉にしていくだけで、感覚が戻ります。

「コップに水が入っている」

「コーヒーがぬるい」

「カレンダーの写真、キレイだな」

「肌寒いな」

「鳥が飛んでる」

「太陽がまぶしい」

「なんか臭い」

「腰が痛い」

こんなふうに、五感で受け取った情報に注目しているときは、今を感受しています。

理由もなくモヤモヤしているときは、この方法を試してみてください。

視覚、聴覚、臭覚、味覚、触感という五感に集中することで、今に意識が戻ってきます。



最近、私もあるものを食べて五感を感じました。それは、淡いピンク色と緑色で春の花の香りがし、手に持った時は柔らかい手触りです。口に入れた時にパリッと葉っぱのちぎれる音がし、甘い味が口の中で広がりました。(→答えはウラ面に)春は五感の季節ですね。



水野博旨



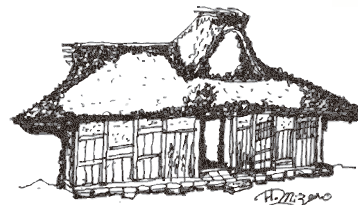
—お詫び—

私にお声を掛けていただいたのに、
飴の持ち合わせがなく、
お渡しできなかった方、大変すみませんでした。
引き続き、お配りしていますのでお声掛け下さい!



空間設計 ミズノ vol.95 のデザイン記録

今回は五十五年前の大阪万博で脚光を浴びた「太陽の塔」の作者、岡本太郎氏の作品を紹介いたします。愛知県犬山市にある「若い太陽の塔」。一九七〇年の大阪万博の一年前、一九六九年に開園した「日本モンキーパーク」のシンボルとして建てられました。高さは約二十六メートル、鮮やかな色彩と力強いフォルムが特徴で、塔の上部には岡本氏らしい独創的な太陽の顔が配置されています。彼がいうには金色の顔は「バイタリテイ」、色鮮やかな体躯は「青春」「若い太陽」、全体として「生命」を象徴しているそうです。このような熱量のある作品、人にエネルギーを与えることが必要なのだと一人考えていました。スケッチ・文：水野真宏



伝統再築士による 古民家&日本建築講座

伝統再築士とは…次世代に引継ぎたい文化的価値の
高い木造物を残すための専門家

↓イームズ夫妻
シェルチェア



↓ネルソン
パブルランプ



↓イサムノグチ
コーヒーテーブル



インテリアショップなどでよく耳にする
「ミッドセンチュリー」とは?



ミッドセンチュリーは家具やインテリアに使われる言葉で、第二次世界大戦終了後、戦争時に自国を戦地としなかったため産業の復帰が他国より早かったアメリカが、戦時中に軍需産業が生み出した新しい技術であるプライウッド(成型積層合板)やFRP(ガラス繊維強化プラスチック)などの素材を利用しデザイン性のある家具が造られていったのが起源とされています。デザインの特徴としては、ポップなカラーや曲線を多用したデザインなどが挙げられます。技術がまだなかった当時、家具は直線で成り立っているものがほとんどでした。そんな中FRP、プライウッドの技術が世に出て来た事で、デザイナー達は曲線のデザインを家具に取り入れていくことができるようになり、今もなお多くの人に好まれ続けています。ミッドセンチュリーを代表するデザイナーとして、チャールズ&レイ・イームズ夫妻、ジョージネルソン、イサム・ノグチなど多くの人物がいます。

この旬感だよりは
ホームページでも
ご覧いただけます。

株式会社 ミズノ ホームページ →
www.mizuno1950.co.jp



空間設計 ミズノ ホームページ →
www.mizuno-architects.com



— ご相談やお問い合わせはこちらへ —

0120-387-312

mizuno@mizuno1950.co.jp



— 建築は、建てることより育てること —

株式会社 ミズノ 空間設計 ミズノ

一級建築士事務所

